平成２９年度　学校経営方針

茨木市立西河原小学校
校長　井上　智弘

「一人ひとりが輝き、笑顔と学びがあふれる学校に」

教室での子どもの様子、家庭での様子など日常的にアセスメントしながら子どもたちに寄り添い、教育活動をすすめていきます。子どもの情報は教職員間、家庭とも共有し、課題解決にあたる際は学年ブロックを中心に組織的に対応していきます。

教職員全員が一丸となって取り組む「チーム西河原」で、安全で安心、魅力ある学校づくりに努め、保護者や地域の方々の信頼に応える学校づくりをすすめていきます。教職員の力を結集して、子どもたちが自他の考えを認め合い、お互いを尊重し合う学年・学級経営に努めます。そして自己選択・自己決定ができる集団、子どもたちを育成していきます。

＊学校教育目標

自ら学び、心豊かに、たくましく生きる子どもの育成		
確かな学力	**豊かな心**	**健やかな体**
・基礎・基本の定着	・心の体力を温める	・楽しい体育
・あきらめない強い心	・人権教育、道徳教育	・遊びの充実
・学び合うプロセスを育む	・人との出会い、読書活動	・地域と連携した安全教育

学校教育目標を具現化するための四つの委員会を R-PDCA サイクル（調査、計画、実施. 点検・評価、調整・改善）に基づき、機能的に教育活動が行われるように取り組み、活性化していきます。

○学力向上推進委員会	学力向上担当者
○生活指導推進委員会　いじめ不登校対策委員会	生徒指導コラボレーター
○人権教育・道徳教育推進委員会	道徳教育推進教師　人権教育担当者
○支援委員会	支援教育コーディネーター

＊具体的取組内容

・個に応じたていねいな学習支援（問題解決学習・意欲を育む学習、わからないが言える関係）
・学習ツール（ICT 機器・ホワイトボード等）を活用した授業づくり、学習・学級集団づくり
・全国・府の学力テストや様々な調査を検証し、組織的に工夫・改善していく取組
・対話的で深い学び、子どもたちが主体的に学ぶ授業スタイルの追求
・丁寧な生活指導（安全教育、事故・いじめ等の未然防止・早期発見、早期にチームで対応）
・学年ブロック会議の充実（個々の児童について共通理解、教材研究、授業づくり…）
・学校のきまり・学習や遊びについて約束の確認・徹底→全校で一致した取組を実践
・自己有用感を育てる異学年交流や福祉体験、奉仕活動等の充実
・一人ひとりの良い点を見つめ自尊感情を育む取組
・安全・安心な学校（不審者や災害時に対応できる学校体制、自分で判断できる児童の育成）
・体力向上の取組（体育の授業改善、遊びの充実、保健・食育面から、）
・自他の違いを認め、お互いを尊重し合う関係性を育む人権教育の推進
・自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、議論する道徳教育の推進
・特別支援教育の視点を取り入れた授業づくり（視覚支援や集中できる教室環境の整備）
・安全かつインクルーシブで効果的な学習環境を提供
・保・幼・小・中のきめ細やかな連携